

対象校No.

注4

学校コード F114310104847

注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

田園調布学園大学 子ども教育学部 子ども教育学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 調布学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総合企画課
職名・氏名	課長・御園 雄太
電話番号	044-966-9211 (内線: 680)
(夜間)	044-578-2816 (内線: 680)
e-mail	misono@dcu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

子ども教育学部

＜子ども教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 調布学園

(2) 大学名

田園調布学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒215-8542

神奈川県川崎市麻生区東百合丘 3-4-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニシムラ アキラ) 西村 昭 (平成6年4月)		
学長	(ヨネヤマ ミツノリ) 米山 光儀 (令和7年4月)		
学部長	(ナイトウ トモミ) 内藤 知美 (令和7年4月)		
学科長等	(サイキ ミキコ) 斉木 美紀子 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
子ども教育学部 子ども教育学科 学士(子ども教育学)	教育学・保育学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	80 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.05倍	- 倍	
志願者数	101 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	該当なし			
受験者数	101 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
合格者数	94 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
B 入学者数	84 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
入学定員超過率 B/A	1.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、 下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)

- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	84 [-] (-)	- [-] (-)											
2年次			- [-] (-)										
3年次					- [-] (-)								
4年次							- [-] (-)						
計	84 [-] (-)	- [-] (-)											

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和7年度	84 人	0 人	令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	- 人	- 人	令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
令和9年度	- 人	- 人	令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
			令和9年度	- 人	- 人	
令和10年度	- 人	- 人	令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
			令和9年度	- 人	- 人	
			令和10年度	- 人	- 人	
令和11年度	- 人	- 人	令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
			令和9年度	- 人	- 人	
			令和10年度	- 人	- 人	
			令和11年度	- 人	- 人	
令和12年度	- 人	- 人	令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	- 人	- 人	
			令和9年度	- 人	- 人	
			令和10年度	- 人	- 人	
			令和11年度	- 人	- 人	
			令和12年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{84} = \boxed{0} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和9年度】

$$\frac{\text{令和9年度の退学者数(a)}}{\text{令和9年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和10年度】

$$\frac{\text{令和10年度の退学者数(a)}}{\text{令和10年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和11年度】

$$\frac{\text{令和11年度の退学者数(a)}}{\text{令和11年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和12年度】

$$\frac{\text{令和12年度の退学者数(a)}}{\text{令和12年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	○	2				1				
	倫理学	1前			2			1				
	美術概論	1後			2				1			
	文学入門	1後			2							1
	日本文化体験	1後			2							1
	日本国憲法	1前	○	2								1
	経済学	1前			2							1
	世界史	1前			2							1
	政治学	1後			2							1
	数学入門	1前			2							1
	人間と環境	1前			2							1
	生命科学	1後			2							1
	英語	1前	○	2								2
	英語コミュニケーション	2前			2							1
	韓国語(基礎)	1前			2							1
	韓国語(応用)	1後			2							1
	中国語(基礎)	1前			2							1
	中国語(応用)	1後			2							1
	手話(基礎)	1前			2							2
	手話(応用)	1後			2							2
	スポーツ	1前		2								2
	スポーツ・コミュニケーション	1後			2							1
	基礎演習Ⅰ	1通	○	1			4	1	2			
	基礎演習Ⅱ	2通	○	1			4	1	2			
	情報リテラシー(基礎)	1前	○	2			1					
	情報リテラシー(応用)	1後	○	2			1					
	日本語表現法(基礎)	1前	○	2			1					1
	日本語表現法(応用)	1後	○	2			1					1
	実用日本語表現法	2前			2		1					1
	海外研修	1前			2		1					
	社会福祉入門	1前			2							1
小計(31科目)	—	—	—	18	42	0	6	2	2		18	
子ども教育	子ども理解の理論と方法	1通	○	2			1	1				
	保育・教育マインド実践講座	1通	○	2			1	1	1			
	保育原理	1前	○	2			1					
	教育の原理	1前	○	2				1				
	社会福祉概論	1前	○	2			1					
	子どもと音楽表現Ⅰ	1前	○	1			1					6
	子どもと造形表現Ⅰ	1前	○	1					1			1
	子ども家庭福祉論	1後	○	2			1					
	発達心理学	1後	○	2				1				
	子どもと音楽表現Ⅱ	1後	○	1			1					6
	子どもと造形表現Ⅱ	1後	○	1					1			1
	子どもと健康	1後	○	1				1				
	教職概論	2前	○	2			1					1
	保育内容(健康)	2前	○	2			1					
	カウンセリング	2前	○	2				1				
	生活	2前			2			1				
	音楽	2前			2		1					4
	図画工作	2前			2				1			
	体育	2前			2		1					
	子どもと人間関係	2前	○	1				1				
	子どもと言葉	2前			1							1
子どもと家族の心理学	2前			2			1					

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	心理学	1前	○	2				1				
	倫理学	1前			2			1				
	美術概論	1後			2				1			
	文学入門	1後			2							1
	日本文化体験	1後			2							1
	日本国憲法	1前	○	2								1
	経済学	1前			2							1
	世界史	1前			2							1
	政治学	1後			2							1
	数学入門	1前			2							1
	人間と環境	1前			2							1
	生命科学	1後			2							1
	英語	1前	○	2								2
	英語コミュニケーション	2前			2							1
	韓国語(基礎)	1前			2							1
	韓国語(応用)	1後			2							1
	中国語(基礎)	1前			2							1
	中国語(応用)	1後			2							1
	手話(基礎)	1前			2							2
	手話(応用)	1後			2							2
	スポーツ	1前		2								2
	スポーツ・コミュニケーション	1後			2							1
	基礎演習Ⅰ	1通	○	1			4	1	2			
	基礎演習Ⅱ	2通	○	1			4	1	2			
	情報リテラシー(基礎)	1前	○	2			1					
	情報リテラシー(応用)	1後	○	2			1					
	日本語表現法(基礎)	1前	○	2			1					1
	日本語表現法(応用)	1後	○	2			1					1
	実用日本語表現法	2前			2		1					1
	海外研修	1前			2		1					
	社会福祉入門	1前			2							1
小計(31科目)	—	—	—	18	42	0	6	2	2		18	
子ども教育	子ども理解の理論と方法	1通	○	2			1	1				
	保育・教育マインド実践講座	1通	○	2			1	1	1			
	保育原理	1前	○	2			1					
	教育の原理	1前	○	2				1				
	社会福祉概論	1前	○	2			1					
	子どもと音楽表現Ⅰ	1前	○	1			1					6
	子どもと造形表現Ⅰ	1前	○	1					1			1
	子ども家庭福祉論	1後	○	2			1					
	発達心理学	1後	○	2				1				
	子どもと音楽表現Ⅱ	1後	○	1			1					6
	子どもと造形表現Ⅱ	1後	○	1					1			1
	子どもと健康	1後	○	1				1				
	教職概論	2前	○	2			1					1
	保育内容(健康)	2前	○	2			1					
	カウンセリング	2前	○	2				1				
	生活	2前			2			1				
	音楽	2前			2		1					4
	図画工作	2前			2				1			
	体育	2前			2		1					
	子どもと人間関係	2前	○	1				1				
	子どもと言葉	2前			1							1
子どもと家族の心理学	2前			2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	子どもの保健	2前		2			1					
	乳児保育 I	2前		2			1					
	社会的養護 I	2前		2		1						
	教育史	2前		2								1
	国語	2前		2		1						
	カリキュラム論	2後	○	2		2						
	特別支援教育・保育論	2後	○	2			1					
	保育内容(人間関係)	2後	○	2		1						
	保育内容(言葉)	2後	○	2		1						
	子どもと環境	2後	○	1			1					
	子ども家庭支援論	2後			2							1
	子どもの食と栄養	2後			2							1
	国語科指導法	2後			2							1
	生活科指導法	2後			2		1					
	音楽科指導法	2後			2		1					
	図画工作科指導法	2後			2				1			
	体育科指導法	2後			2		1					
	道德教育の理論と方法	2後			2		1					
	乳児保育 II	2後			1		1					
	子どもの健康と安全	2後			1		1					
	保育内容(環境)	3前	○	2			1					
	保育内容(表現)	3前	○	2			1					
	学校経営論	3後	○	2			1					
	児童文化	3後	○	2								1
	教育・保育の方法及び技術(情報通信技)	3後	○	2		1	1					
	教育相談	3後		2								1
	保育内容総論	3後	○	2			1					
	社会	3前			2		1					
	算数	3前			2							1
	理科	3前			2			1				
	家庭	3前			2							1
	外国語(英語)	3前			2		1					
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3前			2		1					1
社会的養護 II	3前			1							1	
子育て支援	3前			1		1						
社会科指導法	3後			2		1						
算数科指導法	3後			2							1	
理科指導法	3後			2			1					
家庭科指導法	3後			2							1	
外国語(英語)指導法	3後			2		1						
生徒指導・キャリア教育	3後			2		1						
小計(63科目)	—	—	—	50	64	0	11	4	2		17	
専門発展科目	幼稚園教育実習指導 I	2通	○		1		1		1			
	保育所実習指導 I	2後・3前	○		1		1					
	幼稚園教育実習 I	2前	○		2		1		1			
	学校インターンシップ	2前			2		1					
	保育所実習 I	2後	○		2		1					
	専門演習	3通	○	2			8	4	2			
	キャリア講座	3通		2			1					
	施設実習指導 I	3通	○		1		1					
	施設実習 I	3前	○		2		1					
	子どもとキャンプ	3前			2							1
	子ども教育研究A(アート表現)	3前	○		2		1		1			
	子ども教育研究B(健康スポーツ)	3前	○		2			1				
	子ども教育研究C(多文化共生)	3前	○		2				1			
	子ども教育研究D(地域・行政連携)	3後	○		2		1					
	子ども教育研究E(保護者支援・相談)	3後	○		2			1				
	子ども教育研究F(教育・保育とメディア)	3後	○		2		1					
	保育所実習指導 II	3後・4前	○		1		1					
施設実習指導 II	3後・4前	○		1		1						
保育所実習 II	3後	○		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	子どもの保健	2前		2			1					
	乳児保育 I	2前		2			1					
	社会的養護 I	2前		2		1						
	教育史	2前		2								1
	国語	2前		2		1						
	カリキュラム論	2後	○	2		2						
	特別支援教育・保育論	2後	○	2			1					
	保育内容(人間関係)	2後	○	2		1						
	保育内容(言葉)	2後	○	2		1						
	子どもと環境	2後	○	1			1					
	子ども家庭支援論	2後			2							1
	子どもの食と栄養	2後			2							1
	国語科指導法	2後			2							1
	生活科指導法	2後			2		1					
	音楽科指導法	2後			2		1					
	図画工作科指導法	2後			2				1			
	体育科指導法	2後			2		1					
	道德教育の理論と方法	2後			2		1					
	乳児保育 II	2後			1		1					
	子どもの健康と安全	2後			1		1					
	保育内容(環境)	3前	○	2			1					
	保育内容(表現)	3前	○	2			1					
	学校経営論	3後	○	2			1					
	児童文化	3後	○	2								1
	教育・保育の方法及び技術(情報通信技)	3後	○	2		1	1					
	教育相談	3後		2								1
	保育内容総論	3後	○	2			1					
	社会	3前			2		1					
	算数	3前			2							1
	理科	3前			2			1				
	家庭	3前			2							1
	外国語(英語)	3前			2		1					
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3前			2		1					1
社会的養護 II	3前			1							1	
子育て支援	3前			1		1						
社会科指導法	3後			2		1						
算数科指導法	3後			2							1	
理科指導法	3後			2			1					
家庭科指導法	3後			2							1	
外国語(英語)指導法	3後			2		1						
生徒指導・キャリア教育	3後			2		1						
小計(63科目)	—	—	—	50	65	0	11	4	2		20	
専門発展科目	幼稚園教育実習指導 I	2通	○		1		1		1			
	保育所実習指導 I	2後・3前	○		1		1					
	幼稚園教育実習 I	2前	○		2		1		1			
	学校インターンシップ	2前			2		1					
	保育所実習 I	2後	○		2		1					
	専門演習	3通	○	2			8	4	2			
	キャリア講座	3通		2			1					
	施設実習指導 I	3通	○		1		1					
	施設実習 I	3前	○		2		1					
	子どもとキャンプ	3前			2							1
	子ども教育研究A(アート表現)	3前	○		2		1		1			
	子ども教育研究B(健康スポーツ)	3前	○		2			1				
	子ども教育研究C(多文化共生)	3前	○		2				1			
	子ども教育研究D(地域・行政連携)	3後	○		2		1					
	子ども教育研究E(保護者支援・相談)	3後	○		2			1				
	子ども教育研究F(教育・保育とメディア)	3後	○		2		1					
	保育所実習指導 II	3後・4前	○		1		1					
施設実習指導 II	3後・4前	○		1		1						
保育所実習 II	3後	○		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置						
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	施設実習Ⅱ	3後	○		2		1						
	保育・教職実践演習(幼・小)	4後	○		2		3		1				
	卒業研究	4通	○		4		8	4	2				
	スポーツ指導員養成講座	4通			2		1						
	幼稚園教育実習指導Ⅱ	4通	○		1		1						
	小学校教育実習指導	4通	○		1		1		1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4前	○		2		1						
	小学校教育実習A	4前	○		2				1				
	小学校教育実習B	4前	○		4		1						
	小計(28科目)	-	-		4	49	0	8	4	2			1
合計(122科目)				-									
卒業要件及び履修方法													
教養基礎科目から必修18単位と選択10単位以上で計28単位以上、専門基礎科目から必修単位50単位、専門発展科目から必修4単位をそれぞれ修得し、そのほか専門基礎及び専門発展科目の選択科目から42単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。													

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置						
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	施設実習Ⅱ	3後	○		2		1						
	保育・教職実践演習(幼・小)	4後	○		2		3		1				
	卒業研究	4通	○		4		8	4	2				
	スポーツ指導員養成講座	4通			2		1						
	幼稚園教育実習指導Ⅱ	4通	○		1		1						
	小学校教育実習指導	4通	○		1		1		1				
	幼稚園教育実習Ⅱ	4前	○		2		1						
	小学校教育実習A	4前	○		2				1				
	小学校教育実習B	4前	○		4		1						
	小計(28科目)	-	-		4	49	0	8	4	2			1
合計(122科目)				-									
卒業要件及び履修方法													
教養基礎科目から必修18単位と選択10単位以上で計28単位以上、専門基礎科目から必修単位50単位、専門発展科目から必修4単位をそれぞれ修得し、そのほか専門基礎及び専門発展科目の選択科目から42単位以上を修得し、合計124単位以上を修得すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨】」による授業科目には「【臨】」、「【連】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・指定保育士養成施設の修業科目及び単位数、履修方法指等の指摘を受けて、「スポーツ（保育）」（配当年次：1年後期、単位数：1単位、基幹教員以外の教員1）を新規追加した。
- ・教職課程認定委員会の指摘を受けて、「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」の基幹教員等の配置を「教授1」から、「教授1」・「基幹教員以外の教員1」に変更した。
- ・教職課程認定委員会の指摘を受けて、「教職概論」の基幹教員等の配置を「教授1」から、「教授1」・「基幹教員以外の教員1」に変更した。

【令和8年度】

--

【令和9年度】

--

【令和10年度】

--

【令和11年度】

--

【令和12年度】

--

- (注)・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
- ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	69 科目	10 科目	122 科目	43 科目 [±0]	70 科目 [+1]	10 科目 [±0]	123 科目 [+1]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

--

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0}\%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	34,519.55㎡	— ㎡	— ㎡	34,519.55㎡			
	その他	2,547.86㎡	— ㎡	— ㎡	2,547.86㎡			
	合 計	37,067.41㎡	— ㎡	— ㎡	37,067.41㎡			
(2) 校舎	専 用	19,980.13㎡	— ㎡	— ㎡	19,980.13㎡			
	(19,980.13㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(19,980.13㎡)				
(3) 教室・教員研究室	教 室	63室	教員研究室	17室				
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標 本	学部単体での特定不能のため、大学全体の数	
		[うち外国書] 冊	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]			点
	子ども教育学部 子ども教育学科	134,000 [11,700] (133,942 [11,646])	15 [0] (15 [0])	1,400 [140] (1,298 [130])	4,650 [3,000] (4,598 [2,980])	(10,000) (9,879)		(0) (0)
	計	134,000 [11,700] (133,942 [11,646])	15 [0] (15 [0])	1,400 [140] (1,298 [130])	4,650 [3,000] (4,598 [2,980])	(10,000) (9,879)		(0) (0)
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂	厚生補導施設				
	499㎡		— ㎡	1,211.37㎡				
(6) 経費の見積り及び維持	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	2,400千円	2,400千円	2,400千円
		共同研究費等	400千円	400千円	設備購入費	5,500千円	3,000千円	3,000千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,510千円	1,210千円	1,210千円	1,210千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入等						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学等の名称	田園調布学園大学										収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
人間福祉学部	4	160	3年次 人	640	-	0.89	-	-	平成14	神奈川県川崎市麻生区東百合丘三丁目4番1号	
社会福祉学科	4	110	-	440	学士 (社会福祉学)	0.87	-	-	平成14	同上	令和7年度から編入学定員変更(10→0)
共生社会学科	4	50	-	200	学士 (社会福祉学)	0.95	-	-	平成22	同上	令和7年度から編入学定員変更(5→0)
子ども未来学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成22	同上	令和7年度入学生より学生募集停止
子ども未来学科	4	-	-	-	学士 (保育学)	-	-	-	平成22	同上	令和7年度入学生より学生募集停止
子ども教育学部	4	80	-	320	-	1.05	-	-	令和7	同上	
子ども教育学科	4	80	-	320	学士 (子ども教育学)	1.05	-	-	令和7	同上	
人間科学部	4	60	-	240	-	1.11	-	令和5	平成31	同上	
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.11	1.09	令和5	平成31	同上	令和6年度から入学定員変更(40→60) 令和7年度から編入学定員変更(5→)
大学全体	4	300	3年次 人	1,200	-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和7年度】			【令和8年度】			【令和9年度】			【令和10年度】		
教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	教授	内藤 知美 (59) <令和7年4月> 修士※(家政学)	基(主専)	教授	内藤 知美 (60) <令和7年4月> 修士※(家政学)									
		子ども理解の理論と方法 海外研修 保育原理 保育内容(言葉) 専門演習 卒業研究			子ども理解の理論と方法 海外研修 保育原理 保育内容(言葉) 専門演習 卒業研究									
基(主専)	教授	斉木 美紀子 (51) <令和7年4月> 修士(教育学)	基(主専)	教授	斉木 美紀子 (52) <令和7年4月> 修士(教育学)									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽 音楽科指導法 子ども教育研究A(アート表現)※ 専門演習 卒業研究			子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽 音楽科指導法 子ども教育研究A(アート表現)※ 専門演習 卒業研究									
基(主専)	教授	安村 清美 (68) <令和7年4月> 文学修士	基(主専)	教授	安村 清美 (69) <令和7年4月> 文学修士									
		保育内容(表現) 保育内容総論			保育内容(表現) 保育内容総論									
基(主専)	教授	染谷 裕子 (67) <令和7年4月> 博士(文学)	基(主専)	教授	染谷 裕子 (68) <令和7年4月> 博士(文学)									
		日本語表現法(基礎) 日本語表現法(応用) 実用日本語表現法 国語			日本語表現法(基礎) 日本語表現法(応用) 実用日本語表現法 国語									
基(主専)	教授	犬塚 典子 (63) <令和7年4月> 博士(教育学)	基(主専)	教授	犬塚 典子 (64) <令和7年4月> 博士(教育学)									
		教職概論 子育て支援 生徒指導・キャリア教育 専門演習 卒業研究			教職概論※ 子育て支援 生徒指導・キャリア教育 専門演習 卒業研究									
基(主専)	教授	茗井 香保里 (65) <令和7年4月> 教育学修士	基(主専)	教授	茗井 香保里 (66) <令和7年4月> 教育学修士									
		幼稚園教育実習指導Ⅰ 保育内容(健康) 体育 幼稚園教育実習Ⅰ 体育科指導法 専門演習 幼稚園教育実習指導Ⅱ 卒業研究 スポーツ指導員養成講座 幼稚園教育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼・小)			幼稚園教育実習指導Ⅰ 保育内容(健康) 体育 幼稚園教育実習Ⅰ 体育科指導法 専門演習 幼稚園教育実習指導Ⅱ 卒業研究 スポーツ指導員養成講座 幼稚園教育実習Ⅱ 保育・教職実践演習(幼・小)									

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	教授	番匠 一雅 (53) <令和7年4月> 工学修士※	番匠 一雅 (54) <令和7年4月> 工学修士※									
		基礎演習 I 情報リテラシー(基礎) 情報リテラシー(応用) 基礎演習 II 専門演習 子ども教育研究F(教育・保育とメディア) 教育・保育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)※ 卒業研究										
基(主専)	教授	小泉 和博 (69) <令和7年4月> 経済学士	小泉 和博 (70) <令和7年4月> 経済学士									
		基礎演習 I 基礎演習 II 社会 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 社会科指導法										
基(主専)	教授	栗田 嘉也 (64) <令和7年4月> 文学士	栗田 嘉也 (65) <令和7年4月> 文学士									
		保育・教育マインド実践講座※ 基礎演習 I 基礎演習 II 学校インターンシップ カリキュラム論※ 専門演習 外国語(英語) 学校経営論 外国語(英語)指導法 子ども教育研究D(地域・行政連携) 小学校教育実習指導 卒業研究 小学校教育実習B 保育・教職実践演習(幼・小)										
基(主専)	教授	長谷川 洋昭 (51) <令和7年4月> 修士※(社会福祉学)	長谷川 洋昭 (52) <令和7年4月> 修士※(社会福祉学)									
		基礎演習 I 社会福祉概論 子ども家庭福祉論 基礎演習 II 社会的養護 I 専門演習 施設実習指導 I 施設実習 I 施設実習 II 施設実習指導 II 卒業研究										
基(主専)	教授	清水 道代 (62) <令和7年4月> 教育学修士※	清水 道代 (63) <令和7年4月> 教育学修士※									
		保育・教育マインド実践講座※ カリキュラム論※ 保育内容(人間関係) 保育所実習 I 保育所実習指導 I キャリア講座 専門演習 保育所実習 II 保育所実習指導 II 卒業研究 保育・教職実践演習(幼・小)										
基(主専)	准教授	吉國 陽一 (40) <令和7年4月> 教育学修士※	吉國 陽一 (41) <令和7年4月> 教育学修士※									
		基礎演習 I 倫理学 教育の原理 基礎演習 II 特別支援教育・保育論 道徳教育の理論と方法 専門演習 教育・保育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)※ 卒業研究										

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
基(主専)	准教授	岩本 圭子 (52) <令和7年4月> 修士(教育学)	岩本 圭子 (53) <令和7年4月> 修士(教育学)									
		子どもと健康 子どもの保健 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 子どもの健康と安全 子ども教育研究B(健康スポーツ) 専門演習 卒業研究										
基(主専)	准教授	横尾 暁子 (43) <令和7年4月> 人間科学博士	横尾 暁子 (44) <令和7年4月> 人間科学博士									
		子ども理解の理論と方法 心理学 発達心理学 カウンセリング 子どもと人間関係 子どもと家族の心理学 専門演習 子ども教育研究E(保護者支援・相談) 卒業研究										
基(主専)	准教授	仙田 考 (53) <令和7年4月> Ph.D Horticulture and Landscape (英国)	仙田 考 (54) <令和7年4月> Ph.D Horticulture and Landscape (英国)									
		生活 子どもと環境 生活科指導法 専門演習 保育内容(環境) 卒業研究										
基(主専)	講師	三政 洋一 (46) <令和7年4月> 芸術学博士	三政 洋一 (47) <令和7年4月> 芸術学博士									
		基礎演習Ⅰ 子どもと造形表現Ⅰ 子どもと造形表現Ⅱ 美術概論 基礎演習Ⅱ 図画工作 図画工作指導法 専門演習 子ども教育研究A(アート表現)※ 卒業研究										
基(主専)	講師	谷口 多都子 (44) <令和7年4月> 修士(教育学)	谷口 多都子 (45) <令和7年4月> 修士(教育学)									
		保育・教育マインド実践講座※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 幼稚園教育実習指導Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅰ 専門演習 子ども教育研究C(多文化共生) 理科 理科指導法 小学校教育実習指導 卒業研究 小学校教育実習A 保育・教職実践演習(幼・小)										
その他	教授	米山 光儀 (69) <令和8年4月> 教育学修士※	米山 光儀 (70) <令和8年4月> 教育学修士※									
		教育史										
その他	教授	藤森 智子 (54) <令和7年4月> 法学博士	藤森 智子 (55) <令和7年4月> 法学博士									
		政治学 韓国語(基礎) 韓国語(応用) 中国語(基礎) 中国語(応用)										

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
その他	教授	川名 正昭 (52) <令和7年4月> 修士※(工学)	その他	川名 正昭 (53) <令和7年4月> 修士※(工学)									
		数学入門		数学入門									
その他	教授	國見 真理子 (53) <令和7年4月> 法務博士	その他	國見 真理子 (54) <令和7年4月> 法務博士									
		日本国憲法 経済学		日本国憲法 経済学									
その他	准教授	増田いつみ (63) <令和7年4月> 老年学修士	その他	増田いつみ (64) <令和7年4月> 老年学修士									
		社会福祉入門		社会福祉入門									
その他	講師	青山 誠 (47) <令和8年4月> 芸術学学士	その他	青山 誠 (48) <令和8年4月> 芸術学学士									
		子どもと言葉		子どもと言葉									
その他	講師	安藤 公美 (59) <令和7年10月> 文学博士	その他	安藤 公美 (60) <令和7年10月> 文学博士									
		文学入門		文学入門									
その他	講師	飯田 千夏 (54) <令和7年4月> 修士(音楽)	その他	飯田 千夏 (55) <令和7年4月> 修士(音楽)									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ									
その他	講師	永池 啓子 (68) <令和8年10月> 教育学学士	その他	永池 啓子 (69) <令和8年10月> 教育学学士									
		国語科指導法		国語科指導法									
その他	講師	入江 薫子 (52) <令和7年4月> 芸術学士	その他	入江 薫子 53 <令和7年4月> 芸術学士									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽									
その他	講師	浦城(萩原)直子 (46) <令和7年4月> Social and Behavioral Sciences (米国)	その他	浦城(萩原)直子 (47) <令和7年4月> Social and Behavioral Sciences (米国)									
		手話(基礎) 手話(応用)		手話(基礎) 手話(応用)									
その他	講師	江澤 富士子 (58) <令和8年4月> 文学士	その他	江澤 富士子 (59) <令和8年4月> 文学士									
		英語コミュニケーション		英語コミュニケーション									
その他	講師	大田 美郁 (59) <令和7年4月> 芸術学修士	その他	大田 美郁 (60) <令和7年4月> 芸術学修士									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ									
その他	講師	小野 響也 (27) <令和7年4月> 修士(体育学)	その他	小野 響也 (28) <令和7年4月> 修士(体育学)									
		スポーツ		スポーツ									
その他	講師	小畑 晶子 (66) <令和7年4月> 理学博士	その他	小畑 晶子 (67) <令和7年4月> 理学博士									
		人間と環境		人間と環境									
その他	講師	柿澤 文子 (47) <令和7年4月> 修士(文学)	その他	柿澤 文子 (48) <令和7年4月> 修士(文学)									
		日本語表現法(基礎) 日本文化体験 日本語表現法(応用)		日本語表現法(基礎) 日本文化体験 日本語表現法(応用)									

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
その他	講師	河原 眞利 (60) <令和7年4月> 芸術学修士	その他	河原 眞利 (61) <令和7年4月> 芸術学修士									
		子どもと造形表現Ⅰ 子どもと造形表現Ⅱ		子どもと造形表現Ⅰ 子どもと造形表現Ⅱ									
その他	講師	岸田 蘭子 (63) <令和9年4月> 学士(音楽)	その他	岸田 蘭子 (64) <令和9年4月> 学士(音楽)									
		家庭 家庭科指導法		家庭 家庭科指導法									
その他	講師	酒井 亜弥 (44) <令和7年4月> 学士(音楽)	その他	酒井 亜弥 (45) <令和7年4月> 学士(音楽)									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽									
その他	講師	嵯峨野 美香 (45) <令和7年4月> 修士(文学)	その他	嵯峨野 美香 (46) <令和7年4月> 修士(文学)									
		英語		英語									
その他	講師	嵐田 明子 (61) <令和8年4月> 文学修士	その他	嵐田 明子 (62) <令和8年4月> 文学修士									
		実用日本語表現法		実用日本語表現法									
その他	講師	関 維子 (56) <令和9年4月> 修士※(社会福祉学)	その他	関 維子 (57) <令和9年4月> 修士※(社会福祉学)									
		社会的養護Ⅱ		社会的養護Ⅱ									
その他	講師	高橋 達己 (27) <令和9年4月> 修士(教育学)	その他	高橋 達己 (28) <令和9年4月> 修士(教育学)									
		子どもとキャンプ		子どもとキャンプ									
その他	講師	高橋 弘之 (57) <令和7年10月> 博士(理学)	その他	高橋 弘之 (58) <令和7年10月> 博士(理学)									
		生命科学		生命科学									
その他	講師	滝沢 真弓 (50) <令和7年4月> 修士(音楽)	その他	滝沢 真弓 (51) <令和7年4月> 修士(音楽)									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽									
その他	講師	田中 明子 (62) <令和7年4月> 芸術学修士	その他	田中 明子 (63) <令和7年4月> 芸術学修士									
		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽		子どもと音楽表現Ⅰ 子どもと音楽表現Ⅱ 音楽									
その他	講師	谷田 快 (41) <令和8年10月> 修士(地域研究)	その他	谷田 快 (42) <令和8年10月> 修士(地域研究)									
		子ども家庭支援論		子ども家庭支援論									
その他	講師	土田 弥生 (65) <令和9年4月> 修士(人間科学)	その他	土田 弥生 (66) <令和9年4月> 修士(人間科学)									
		算数 算数科指導法		算数 算数科指導法									
その他	講師	中島 尚樹 (66) <令和7年4月> PhD Linguistics (英国)	その他	中島 尚樹 (67) <令和7年4月> PhD Linguistics (英国)									
		英語		英語									
その他	講師	西村 かおる (58) <令和8年10月> 栄養学博士	その他	西村 かおる (59) <令和8年10月> 栄養学博士									
		子どもの食と栄養		子どもの食と栄養									

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
その他	講師	波戸 謙太 (29) <令和7年10月> 修士(体育学)	その他	波戸 謙太 (30) <令和7年10月> 修士(体育学)									
		スポーツ・コミュニケーション		スポーツ・コミュニケーション									
その他	講師	古橋 侑季 (26) <令和7年4月> 修士(教育学)	その他	古橋 侑季 (27) <令和7年4月> 修士(教育学)									
		スポーツ		スポーツ									
		スポーツ(保育)		スポーツ(保育)									
その他	講師	丸山 雄 (52) <令和7年4月> 修士※(史学)	その他	丸山 雄 (53) <令和7年4月> 修士※(史学)									
		世界史		世界史									
その他	講師	宮崎 麻子 (52) <令和9年10月> 修士(文学)	その他	宮崎 麻子 (53) <令和9年10月> 修士(文学)									
		児童文化		児童文化									
その他	講師	山部 啓子 (49) <令和7年4月> 教育学修士	その他	山部 啓子 (50) <令和7年4月> 教育学修士									
		手話(基礎)		手話(基礎)									
		手話(応用)		手話(応用)									
			その他	今泉 朝雄 (53) <令和9年4月> 修士※(教育学)									
				特別活動・総合的な学習の時間の指導法									
			その他	鈴木 悠太 (43) <令和8年4月> 博士(教育学)									
				教職概論									

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)を含む。)を黒字
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

・指定保育士養成施設の修業科目、単位数及び履修方法指等の指摘を受けて、新たに追加した科目「スポーツ（保育）」の担当教員は、古橋 侑季 非常勤講師とした。
・教職課程認定委員会の指摘を受けた「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」のオムニバス担当教員として、今泉 朝雄 非常勤講師を新規採用した。
・教職課程認定委員会の指摘を受けた「教職概論」のオムニバス担当教員として、鈴木 悠太 非常勤講師を採用した。

【令和8年度】

【令和9年度】

【令和10年度】

【令和11年度】

【令和12年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。
原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている）
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）		
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上）
10	5	2
名	名	名

(注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計□A)		助手□A')	教授	准教授	講師	助教	計□B)		助手□B')
11	4	2	0	17		0	11	4	2	0	17		0
(11)	(4)	(2)	(0)	(17)		(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計□C)		助手□C')	教授	准教授	講師	助教	計□D)		助手□D')
11	4	2	0	17		0	11	4	2	0	17		0
[11]	[4]	[2]	[0]	[17]		[0]	[11]	[4]	[2]	[0]	[17]		[0]

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A）」欄には「-」を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70	1	3
歳	名	名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

【該当なし】

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
合計（D）						後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

【該当なし】

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計（F）						後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
	選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
	自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

【該当なし】

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
人	必修		科目	必修		科目	必修		科目	
	選択		科目	選択		科目	選択		科目	
	自由		科目	自由		科目	自由		科目	
	計		科目	計		科目	計		科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

【該当なし】

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \boxed{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・ 令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

【該当なし】

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

(注) ・ 上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画
認 可 時 (令和6年)	・子ども未来学部子ども未来学科の収容定員未充足の是正に努めること。 【届出】遵守事項	子ども未来学部子ども未来学科は、令和7年4月入学者より、学生募集停止している。（※学生募集停止に係る報告書を提出済）	履行済 在学生在が卒業するのを待って、子ども未来学部子ども未来学科は廃止する。なお、廃止するまでの間の在在生への教育環境の維持に万全を尽くす。

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
 - 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。
 - 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。
 - 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<子ども教育学部 子ども教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
【変更事項なし】	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD・SD委員会を設置している

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
原則毎月1回開催の予定である。

c 委員会の審議事項等
SD・FD研修会等に関する事、学生による授業評価に関する事、教育研究活動改善に関する事、他

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教育研究活動改善についての検討
- ・ 学生による授業アンケートの実施
- ・ 教員相互の授業参観の実施
- ・ 学生との意見交換会の開催

など

b 実施方法
対面とオンラインを組み合わせたハイブリット形式で実施。公務出張者にはオンデマンド配信を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD研修会、教員相互の授業参観：6月、11月、12月に実施予定
- ・ SD研修会：8月開催予定
- ・ 授業アンケート：前期・後期に各1回実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
授業アンケートの結果を基に学部長より教員への指導が行われる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
アンケート結果の報告書は、学内ポータルサイト「でんでんぱん」(web)に掲載している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

【該当なし】
① 体制
a 委員会の設置状況 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
c 委員会の審議事項等
d その他
② 審議状況
a 審議した内容 記入例) ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容 ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 子ども教育学部子ども教育学科の設置趣旨及びその目的達成に向けた教育研究活動の推進に伴い、授業の適切な実施を図るとともに、設置認可時に指摘された留意事項の改善に努める。これらの課題について、学科会での検討を経たうえで、自己点検・評価委員会が中心となり点検・評価を実施し、教育研究活動の質保証を自主的に推進する。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期 ・ 令和7年8月下旬 公表
b 公表方法 ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和7年8月末を予定）
③ 認証評価を受ける計画 ・ 令和8年に（公財）日本高等教育評価機構の機関別認証評価を受審予定。

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。